

環境 ビジネス

2050年 脱炭素社会の実現へ

東京ゼロエミッション戦略

小池百合子東京都知事

「トップリーダーに訊く『環境配慮型経営』」

第2回 東京ガス株式会社 代表取締役社長 内田高史氏

ニュー・ノーマル時代の脱炭素経営と企業価値向上

日本の太陽光発電市場3,5,10年後の見通し

再エネ主力電源化の最後のピース

洋上風力発電の可能性

ニュー・ノーマル時代に

成長する

環境経営とは

秋号

季刊環境ビジネス2020年秋号

www.kankyo-business.jp

再エネ主力電源化の
最後のピース

洋上風力発電の 可能性

2019年に「海洋再生可能エネルギーの発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」(再エネ海域利用法)が施行され、洋上風力発電の潮目が大きく変わった。それまで風力発電、特に洋上風力発電においては、事業の不透明性や海運事業者や漁業関係者などの先行利用者との調整の場がないこと、コスト高などが災いし、なかなか広がらずFITの中でもあまり注目はされなかった。しかし、法律が施行され課題が解決されると注目が集まり参入企業が一気に増加した。また、最近でも「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」が開催されるなど政府をはじめ産業界の注目度も高い。本特集では関係者に取材し洋上風力発電の可能性を探った。

